

2023年度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名: OHANAサポートスクール 公表日: 2024年3月20日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			活動できるスペースは確保できています。外(屋外)遊びも取り入れています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準人員数以上に配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			車いすでも利用できるように段差をなくしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			個人、チームで目標を決め、それぞれに振り返りを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者向け評価表を使っています。評価表で課題となることを話し合いながら改善を試みています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者委員会は設置しておらず、改善にはつながっていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			定期的に研修を行い、情報の共有を行いながら資質の向上を図っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			お子様の様子の変化など支援内容の見直しなど、随一アセスメントを行いその時にあった支援を行えるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	事業所で作成したアセスメントシートを使用しています。改善が必要と思います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			郊外やイベントカリキュラムなど職員で考えながら立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			総合的な支援を行えるようにプログラムを立案しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			サービス提供時間に応じて、短時間で行えるもの、長時間で行えるものを設定し、支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			それぞれのニーズに合わせて個別、集団支援を取り入れながら作成しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			予定表を作成し、打合せで確認、役割について話し合いを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎の関係上、振り返りは翌日に行っています。支援内容や気になること、困りごと、トラブルについて情報共有を行っています。急を要することについては、翌日ではなく都度その場で相談し解決するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援記録を記入し、振り返りを行っています。また、会議で支援検討・改善に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、職員同士で課題を話し合い、支援内容の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			複数組み合わせ合わせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の行事予定を共有いただいております。また送迎時にその日の様子等について連携していただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアの必要なお子様は通所されていませんが、医療的ケア児支援者養成研修に参加し、知識の向上に努めました。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		低学年の利用者様が少ないので、就学前の様子などは主に相談員や保護者様から情報をいただいております。必要に応じて、保護者様同意のもと保育所等の方にも情報共有を依頼したいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今まで障害福祉サービスに移行される方がいらっしやらなかったのですが、今後高校卒業等で移行される方がいる場合、情報提供を行わせていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			県や市が主催している研修や児童発達支援センター等専門機関が行う研修に参加しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		郊外学習で公共施設や飲食店を利用し施設以外の人々とのかわりを持つ機会を設けました。クラブや児童館などとの施設交流の場を今後設けていきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		積極的に参加できるよう心がけています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に状況をお伝えし、必要に応じて連絡を取ったり面談を行ったりしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		学習ではこのように伝えると、理解がしやすかった、このような環境で集中が続いたなど、ご家庭でも支援を実践していけるように伝えようと心がけています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時などに説明を行い、理解を得るようにしています。事業所内に運営規定、重要事項契約書を掲示し、いつでも閲覧できるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様と日頃から連携をとり、困りごとなど相談を受けて、支援の方法などを一緒に考えて支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			毎年外部講師を招いて保護者様向けの講演会と、個別相談会を行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応窓口を設置し、苦情があった場合には迅速に対応するようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、活動プログラムの予定表をお便りにして発行しています。活動概要や目的についても一部説明しています。活動実施後の様子は公式インスタグラムにて公開しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			取り扱いマニュアルを策定し、研修も行っていきます。個人情報の書類は鍵付き書庫で保管するなど注意を払って取り扱っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じた意思疎通や情報伝達の方法を考えたり、視覚化するためのツールなど活用をしたりしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			講演会を開き、地域の方々に参加いただいています。事業所主催のお祭りなどを開き、地域の方々に招待していこうと考えています。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定し、研修を行っています。事業所内にいつでも閲覧できるように設置していますが、保護者様への周知がまだ十分でないと感じるため、周知方法を考えていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			社内外での研修に参加し、報告と振り返りを行い虐待に対する認識を持ってもらうようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正化についての指針を定め研修を行っています。身体拘束をゼロにすることを前提とし、行わざるを得ない場合は必ず保護者への了解を得る・記録をとることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師からの指示書を必ずいただき、それに基づいた対応をしています。エピペンの使用方法の研修も行いました。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成・周知しています。また、会議で再発防止策について話し合っています。